

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	令和7年度第1回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会		
開催日時	令和7年7月28日（月）午前10時30分～12時05分		
開催場所	東分庁舎第2会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>&lt;推進協議会&gt;  出席委員：大森委員、石井委員、黄木委員、吉野委員、永田委員、小林委員、橋本（拓）委員  欠席委員：橋本（晴）委員、本間委員、和田委員  &lt;連絡会&gt;  出席委員：菊地町民部長、瀬戸町民窓口課長、野呂子育て支援課長、徳江保育幼稚園課長、一島健康づくり課長、原産業振興課長、岡野生涯学習課長  欠席委員：濁川人事課長（代理：遠藤副主幹）、上村学校教育課長（代理：明珍指導主事）、三橋高齢介護課長（代理：秋庭主幹）  &lt;事務局&gt;（兼）菊地町民部長、（兼）瀬戸町民窓口課長、三留町民窓口課副主幹  &lt;傍聴者&gt; 1名</p>		
議 題	1 「第5次さむかわ男女共同参画プラン」令和6年度事業実績報告等について 2 「第6次さむかわ男女共同参画プラン」令和7年度事業計画について 3 その他		
決定事項	○今回の会議録承認委員に大森委員、石井委員を指名		
公開又は非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 瀬戸町民窓口課長 2 委嘱状の交付 本年度より2年の任期で全員を新たに委嘱 3 あいさつ 木村町長 4 自己紹介 推進協議会委員、連絡会委員及び事務局職員自己紹介 ～木村町長 退席～ 5 会長・副会長の選出		

委員の互選により、黄木委員を会長に、大森委員を副会長に選出

～傍聴者 入室～

#### 6 議事録承認委員の指名

承認委員は、会長を除いて委員の名簿順に輪番で務めることに決定する。

承認委員は大森委員、石井委員が務めることに決定

#### 7 議題

【黄木会長】 それでは、議長となりました私のほうから、これより議事を進行させていただきます。お手元の次第に従いまして、7番の議題の（１）「第5次さむかわ男女共同参画プラン」令和6年度事業実績の評価について、こちら、資料1、2番になっていますが、事務局よりまず説明のほうよろしくお願いいたします。

【事務局】 それでは、まず、事業実績評価について御説明いたします。資料2、さむかわ男女共同参画プラン令和6年度事業実績報告は、「第5次さむかわ男女共同参画プラン」に基づき、令和6年度に実施した事業の実績と各事業の自己評価を事業担当課から御提出いただき、町民窓口課で取りまとめを行ったものでございます。次に、推進協議会と連絡会の合同会議であります本日の会議で不明な点など確認作業をしていただきまして、各委員から4つの基本目標ごとに評価としての意見をいただきます。提出していただいた意見を、次回、第2回推進協議会で4つの基本目標ごとにまとめていただき、その後、町民へ公表という流れになっております。なお、4つの基本目標ごとに評価をいただく上で、各基本目標が計画の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてどのように進めていくべきかなどについて、総合的な観点から御意見をいただければと思います。それでは、説明に移らせていただきます。

資料の1を御覧ください。資料1は、令和6年度各事業の実施状況の概要になっております。基本目標ごとに、達成度、今後の方向性を修正したものでございます。目標の達成度につきましては、目標値に対する実績値について考え方を明確にし、実績が目標値に達している場合はA、目標値に対し80%以上の実績値がB、目標値に対し80%未満の実績値がC、目標値に対し取り組むことができなかった場合をDとしております。

集計結果から、Aの目標値に達している割合が高いものの、Dの目標値に対して取り組むことができなかった事業もあることから、目標値達成に向け、今後も取り組む必要があると考えております。また、今後の方向性につきましても、「さらに充実強化していく」、「計画どおり取り組む」、「一部見直しが必要」、「事業の休止または廃止」の4段階の自己評価をしており、全体として、「2、計画どおり取り組む」が多い結果となりました。

資料2の各事業ごとの現状と課題では、実績についてできるだけ具体的な数値を記載し、事業の課題などを報告いただいております。また、

評価の理由につきましても、事業の成果や課題を踏まえ、なぜそのように評価したのか理由を記入しております。

では、資料2、基本目標Ⅰの評価内容から順に、基本目標ごとに確認をしていただきたいと思います。黄木会長、よろしくお願いいたします。

**【黄木会長】** 今、説明のほうが終わりましたけれど、事業数が大変多いので、基本目標がⅠからⅣまでだと思いますが、基本目標ごとに評価内容の確認を進めてまいりたいと思います。こちらが、また次の令和7年度の実施計画にも関係してくると思いますけれど、よろしくお願いいたします。

それでは、基本目標Ⅰ、2ページから5ページ、事業番号で申し上げますと1番から8番の評価内容の確認に入りたいと思います。何か質問、意見等あります方は発言のほうをお願いいたします。いかがでしょうか。

すみません、司会している私のほうから2点、お願いします。

1つは意見で、1つは質問になりますが、3ページを御覧いただきまして、事業番号で言うと3番になりますが、こちらは意見になりますけれど、非常に目標値が、3年度から26、28、30、32ということで、町の審議会の女性委員の登用の比率を目標に掲げていらっしゃるのですが、今回6年度は実績が28ということで、目標に対して達成はしていないのですが、この目標の設定の仕方が非常に前向きというか、攻めの目標設定だなというのをすごく感じています。私も事務局側にいたことがありますけれど、ほかの御覧いただいても分かる通り、結構、年度ごとに同じ目標値というパターンが結構多いですが、年度ごとに少しずつ、この少しの2%を上げるって結構大きいですよ、大変ですよ。大変だけど、こういうふうにやっていらっしゃるというのは本当に素晴らしいことだと思いますし、なかなかできないようなところで、目標値には達していないですけど、本当によくやられているなというように感じました。

次は、質問になりますが、事業番号の4番、それと次のページの5番も同じですが、目標値がこの講座の参加人数ということで100人ということですが、5年度は倍以上ということで、各年度を見ても、かなり100を超えるような形になっていますけど、こちら辺、多く御参加いただいている理由というのは把握されているのか。特に5年度、今回6年度の部分ですけど、5年度などはかなり大幅に増えているので、そういった過去の履歴も踏まえながら、目標値を大幅に超える理由というのをもし把握されていたら教えていただきたいと思います。

では、町民窓口課からお願いします。

**【事務局】** それでは、事業番号4番、目標値を大幅に超えている理由ですが、令和2年度までは対面で講座を開催していたのですが、コロナ禍になってからはYouTubeによる動画配信で講座を開催いたしました。そのため参加者が都合の良い時間に見ることができるということで、応募が多かったのではないかと考えております。

また、周知啓発に関しまして、SNSを使ったり、ホームページ、広報、あと町内にポスターを貼ったり、様々な方法で周知啓発をした結果、このように増えたのではないかと考えております。以上です。

【黄木会長】       ありがとうございます。

対面式というのもすごく大事だとは思いますが、最終的には、周知というか、御参加いただける方がどういう形であれ増えるということは非常にいいのかなと思いますし、ユーチューブである一定の期間を定めて、1日ではなくて、定めて実施するというのは非常にすばらしいなと。国とかでは、一旦、1日行って、それ以後はユーチューブでも配信しているなんていうやり方もありますけど、非常にそういった御努力が実を結んでいらっしゃるのかなと思います。ありがとうございました。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

そうしましたら、異なる目標に行きますけど、もし後で気づいたら、目標Ⅰの部分も含めて、また御意見、質問等いただければと思います。

では、続きまして、基本目標のⅡ、6ページから9ページ、事業番号で申し上げますと9番から17番の評価内容の確認に入ってまいりたいと思います。何か御質問、御意見等ある方は御発言のほう、よろしくお願いいたします。

いかがでしょうか、これに関連した質問でも全然構いませんので。

では、再び私のほうからよろしいでしょうか、3点あります。

9ページを御覧いただきたいのですが、まず1点目になりますが、15番、公民館講座（健康づくり講座）の開催についてということで、こちら3回が目標になっていきますけど、そちらから、これも大幅に増えていて非常にいいことですが、こちら辺、目標と大分乖離しているというところで、どういったところが関係しているのかなということをお教えいただければと思うのですが。では、岡野課長、お願いします。

【岡野生涯学習課長】       こちらは指定管理施設になっておりまして、各館のほうには、町民センターと南部、北部、各館それぞれに健康づくりの講座を年1回は開催してくださいということでお願いをしている状況です。そのため目標に関しては、あくまでも年1回、必ずやってくださいということで、3回を目標にはしておりますが、実際、蓋を開けてみたら、かなりたくさん健康に関する講座を実施していただいて、実績としてはこのような数字になっております。

【黄木会長】       こちら辺は指定管理とかそういった影響もありますかね。いい意味での影響ですけど。

【岡野生涯学習課長】       はい。

【黄木会長】       ありがとうございます。

また、今後の目標というところでも関連してくるのかなと思いますけど、目標値がかなり、もっともっと上でもよかったぐらいな、当時はまた状況は違ったのでしょうか。ありがとうございます。

続いて、2点目、事業番号16の新成人への健康教育の実施で、こちら6年度の実績がゼロにまたなっております。事業実施がなしというこ

とで、パンフレットの配布、小冊子の配布というところで、ここら辺の経緯というのがもしありましたら。理由のところで廃止予定、廃止を検討というような話ですが、経緯を教えていただけたらなと思いますが。健康づくり課の一島課長、いかがでしょうか。

【一島健康づくり課長】 健康づくり課です。

この新成人へのパンフレット配布が、何か配布をするのはするのですが、配布したときに、どれだけの効果というか、何か配布しているだけになってしまうと、本来の意味というのがどうなのかなと、少し懸念事項があって、新成人への配布のタイミングも何かやっぱりそこに目を触れて、立ち止まってみて、考えていただくとかという、そこまではなかなか厳しいものがあるのかなというふうなことで、やっぱり配布、本当に撒くというか、しているだけの効果みたいなものを少しやっぱり考えないといけないのではないかみたいところで、こちらの配布というよりは違う形で、性に関する正しい知識と普及は本当に大事ですので、その辺りを今までの本当に配るだけというよりは、違う形で必要性を感じて今このような整理の仕方になっています。

【黄木会長】 ありがとうございます。岡野課長、お願いします。

【岡野生涯学習課長】 すみません、少し補足というか、私、生涯学習課のほうで、この新成人に対して成人の日に集いをやっている担当になるので、少し補足をさせていただきますと、実は、令和5年度、この新成人の式典に関しては、新成人が実行委員会を立ち上げて、この実行委員会が主催をしているのですが、その実行委員会の中で、毎年度、毎年度、いろいろな企画を組んでいく中で、この式典の次第とか記念誌に関しても、実行委員会からの提案で、紙での次第をつくらなくなったのです。記念誌に関しても、当日来た方は、二次元コードを読み取って記念誌自体が電子化されています。それが令和5年度の実行委員会から始まりまして、昨年度、令和6年度も二次元コードを読み取った形での記念誌になっておりますので、実際、成人の方たちも手に紙を持って参加するということがなくなっています。そういったこともあって、恐らくこの配布というのも見直しがされたのではないかというふうに思います。すみません、補足です。

【黄木会長】 ありがとうございます。よろしいでしょうかね。

それでは、3点目になりますが、事業番号17番になります。

こちらは性教育の実施時間数を示しておりますけれど、学習指導要領に基づいてということであります。また、評価の理由とか現状を拝見すると、やはり昨今、性の多様性という部分で様々求められている時代なのかなと、反対に、またSNSによって、そういったいい面もあれば、逆にそういった部分が侵害されるのではないかというような、そういったこともあるのではないかなと思います。

現状のほうでは多様な性について理解する必要があるということで、その必要性について記載がありますけれど、現状、具体的に多様な性ですとか、学校教育だけでなく家庭教育も含めて、性教育というのは大事

なところなのかなと思うのですが、そういった具体的な現状というところは、知っている範囲でお教えいただきたいと思うのですが。  
では、学校教育課からお願いします。

【明珍学校教育課指導主事】 学校教育課としては、やっぱり多様な性というところで、今、中学校では制服の選択制だったりとかそういうところも学校で考えているというところと、あと授業の中でも、こちらの評価の理由にも書かせていただいたのですが、男女を分けて指導したりだとか、養護教諭と連携したりというところでやり方も工夫しながら、今、行っております。あと、研修というのもしっかり行っていかないと、現状、教員側でもなかなか理解できていないとか、教員側でもまだ知識が不足しているというところはあるので、まずは教員自身がしっかり知識を持っていけるようにというところ、まず教員が知るところで、研修会等のほうもこれから充実させていこうと思っているところであります。

以上になります。

【黄木会長】 この件に関してはよろしいですか。

昨今、性の多様性というのは非常に重要になっていますけれども、今、ソフト面のところ、いろいろ現状もお教えいただきましたけど、それだけじゃなくて、設備面、心は男性だけど、性別で言うと女性だというようなときに、トイレの問題とか、更衣の問題とかいろいろあると思います。そういったハード面のところも追いついているのかというところもいろいろ難しいところもあると思いますけれど。

橋本委員は、小学校の現場で勤務されていますけど、性教育については、どんな現状を捉えていますか。

【橋本（拓）委員】 学校現場だと、今、お話しあったように、先生たちが、やはり知識としては分かっているけど、それをどう子供たちに伝えていくかというのが分からない。LGBTとか、LGBTQとかとてもシビアな問題だと思うのですが、それを、知識としては先生たちが分かっているけど、それを授業で子供たちにどう教えていこうというところがやはり課題になると思うので、研修会などをやっていただけたらどう教えるかということに、知識としてはある程度もう先生たち分かっているから、どう活用するかという研修をやっていただけたらありがたいかなというふうに思います。

以上です。

【黄木会長】 ありがとうございます。

なかなかセンシティブな内容だったりするので、本校でも先日、同じ学年の子たちにどう伝えるかということで、校長の私も指導案を見ながら、学年の中にいるそういったLGBTQに関わるお子さんの理解ということで、授業のほうを道徳でやっていましたけれど、現場では、何とか持っている知識とか、管理職と相談しながらということを進めておりますけど、今後、また重要なのかなと思ったりします。ありがとうございますそのほか、基本目標Ⅱについて、いかがでしょうか、よろしいですか。

では、また、後で出てきましたら、出していただければと思います。  
続きまして、基本目標Ⅲ、10ページからちょっと数が多いですが、17ページ、事業番号で申し上げると18番から事業番号33番の評価内容の確認に入ってまいりたいと思います。何か御質問、御意見等ある方は御発言のほうお願いいたします。  
橋本委員、お願いします。

【橋本（拓）委員】       では、2点質問です。

事業ナンバー21番の育児休業取得の促進ということで、実績のほうを見ていくと、31から上がっているなとすごい感じています。制度周知というのは、何か頻度とか、どのような形で行ったのかというのが知りたいなと思いました。

2点目は、24番の保育環境のものです。現状と課題のところに、令和7年4月に幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行を希望している施設に対しというところで、今、幼稚園からこども園に移行を希望しているところというのは、どの程度あるものなのかなというのが、自分も子供をこども園に行かせているのですが、これは結構ありがたいなというところがあって、寒川では、うちは寒川でないのですが、どの程度、そういう希望しているところがあるのかなというのを聞いてみたいなと思いました。2点、お願いします。

【黄木会長】       では、まず1点目、事業番号21番の周知、かなり大幅に3年度から上がってきて、目標も100%というすごく高い、これも先鋭的な本当に目標の設定だと思いますが、周知の頻度とか周知の仕方の部分、もし情報ありましたらということで、人事課の遠藤副主幹、お願いします。

【遠藤人事課副主幹】       それでは、21番のお答えをさせていただきます。周知の方法といたしましては、私ども人事課につきましては、共済組合等の窓口ともなっております。ですので、職員間で例えば結婚だとか子供が生まれるだとかそういった情報があつた場合には、人事課のほうにそういったお問合せ、こういったこれから手続きをしたらいいかという連絡がありますので、そういった際に併せて、例えば子供が生まれるといった場合については、こういった休暇制度があるかという説明等を行うようにしております。ですので、まとまった周知というよりは個々にそういったものが、案件が出た際には、お話をするような形を図っているところでございます。以上です。

【黄木会長】       ありがとうございます。

かえって全体に周知というよりも、タイミングよく自分事になるところで、個々に対応していただけるということですので素晴らしいなと思います。橋本委員、よろしいですか。

【橋本（拓）委員】       大丈夫です。

【黄木会長】       もう一点、そうしましたら事業番号24番のほうです。幼稚園からこども園の移行というところで希望している施設がどの

程度あるのかというところですけど、保育幼稚園課の徳江課長、お願いします。

【徳江保育幼稚園課長】 24番の認定こども園化について、お答えさせていただきます。認定こども園に移行した施設が3施設あります。その3施設、いずれももともとは幼稚園で、認定こども園に移行したいという意向の下で、今現在、認定こども園として運用しているところです。あと1園、幼稚園があるのですが、そこについては、今のところ認定こども園への移行の意思はお伺いをしていない状況です。以上でございます。

【黄木会長】 橋本委員、いかがでしょうか。

【橋本（拓）委員】 よろしいです。

【黄木会長】 ありがとうございました。  
それでは、基本目標のほう、ほか、いかがでしょうか。  
吉野委員、お願いします。

【吉野委員】 事業番号26番の児童クラブ運営事業というので、実績がかなり伸びてきているというふうに思うのですが、この目標は必要とする人ということかなと思うのですが、実際に児童クラブが、現実にキャパいっぱい、もし利用したとしたら、どのくらいの方まで受け入れられるくらいのものを持っているのか、もし分かりましたら教えていただきたいなと思っています。

【黄木会長】 では、徳江課長、お願いします。

【徳江保育幼稚園課長】 学童クラブについてですが、今現在、定員がどのくらいあるかということになるかと思いますが、令和7年4月の時点で定員は350人の枠を設けております。ただ、学区ごとの定員枠ですので、学校によってはいっぱいのところもありますし、空いているところもあるというような状況でございます。やはり夏休みに向けて増えていく傾向がありまして、夏休みが過ぎると退所されるお子さんが多くいらっしゃるということで、今年度は実施ができなかったのですが、次年度からサマースクール、夏休みの間お預かりができるような事業をということで、待機児童の解消につながるようなことを考えております。以上でございます。

【黄木会長】 吉野委員。

【吉野委員】 そうしましたら、学区ごとでは足りていないという、要するにいっぱい、入りたいけれども入れないという方もいるということが現実にあるということですか。



【徳江保育幼稚園課長】 直近ですと、令和7年7月時点については、入れなくて待っていらっしゃるお子さんが実際のところはいらっしゃいます。

【吉野委員】 なかなか全体では見えない、見えにくくなっている部分もあるということですよね、そういう部分で。

【徳江保育幼稚園課長】 定員から枠があるのと思うところもあるのですが、学区ごとに枠があるので、そこで入れないお子さんが実際のところはいらっしゃいます。

【吉野委員】 なので、ぜひ、次の年も少しずつ多分増えていくという傾向になってくると思うので、そこの対策をやっぱり考えていただきたいなというふうに思います。以上です。ありがとうございます。

【黄木会長】 なかなか合わせてしまうと見えない、見えづらいところなのかなというところで、実際の中身が、今、分かって非常によかったなと思いますし、今後につなげていただきたいなと思っております。ほか、いかがでしょうか。事業数がかなり多いので、少し時間を取っておきたいなと思いますが、いいですか。では、私のほうから2点お願いいたします。まず1点目が、16ページの事業番号30番になります。3年度から順調に目標の達成をされていたわけですが、昨年度6年度に、急に目標を大きく下回って、前年からするとかなり講座の参加人数が減ったようになっております。ここら辺の分析、理由というところ、どういったものなのかなということ、まず1点お伺いしたいなと思います。では、まず、よろしくお願いします。

【秋庭高齢介護課主幹】 講座的には特に変わったあれはなく、例年どおりだったのですが、あと参加者、周知も同じようにはやったのですが、参加率、参加が伸びなかったということが実績であります。

【黄木会長】 かなりばらつきが、4年度は参加人数が大幅に増になっていますけど、なかなか読み切れない。

【秋庭高齢介護課主幹】 読み切れないところがあります。

【黄木会長】 読み切れないところがある感じですかね。日付自体も変えていない感じですか。

【秋庭高齢介護課主幹】 日付は、時期によって変えたりはしていますけれども。

【黄木会長】 ぜひ、また周知等、努力されていただければと思うので。

【秋庭高齢介護課主幹】 はい。

【黄木会長】 では、2点目になりますが、17ページ、事業番号32番になりますが、ファミリーサポートセンター事業ということで、こちら、目標値が年度ごとに減っていくというちょっと珍しい目標設定ですが、にもかかわらずかなり目標を大幅に上回る結果が出ていらっしゃるということで、こちら辺、なぜこれだけ目標を大幅に超えているのかなというところ、どんな努力、取組が行われているのかなというところ、もしお分かりでしたら教えていただければと思いますが、子育て支援課の野呂課長、お願いします。

【野呂子育て支援課長】 ファミリーサポートセンター事業ですが、こちら、目標値につきましては、お子様も少なくなってくるしというようなことで少しずつ減になっていくような目標設定をさせていただいておりました。また、共働き等の親御さんたちも増えてきているので、保育園の送り迎えですとか、場合によっては学童のお迎えですとか、定例的に使われる方がお一人、お二人いらっしゃる、この活動実績がかなり上がってくるという傾向があります。4年度ですとかは、もう3,000件を超えるようなことになっていて、目標と実数の乖離が見られているのかなと思っております。

【黄木会長】 でも、利用される方が多いというのはすごくいいことかなと思いますし、子供が減っていつているにもかかわらずというところは大きいかなと思いますが、こちら辺の対応というのは大丈夫ですか。活動は、もう想定よりもかなりの件数が多いと、今回なんか1,660件に対して2,600の1,000件も多いというのは、かなり運営側として大丈夫なのかなという。

【野呂子育て支援課長】 ファミサポの運営、すごく頑張ってくださいっていると思うのですが、現状対応ができていて、お断りされたみたいなお話は特には聞いておりません。

【黄木会長】 お疲れさまです。ほか、いかがでしょうか、よろしいですか。では、大森委員、お願いします。

【大森委員】 1点だけ、よろしいですか。

16ページの30番の高齢介護課の方に、よろしいですか。

1点、そんな大したことではないのですが、これから高齢化になっていく時代の中で、この実績値が105から88に落ちている理由というのは、別に特に細かく追及しているわけではないのですが、町民の方々の関心がなくなっているものなのか、今回のこの教室のときにたまたま来なかったのか、どうなのかなということだけ教えていただければなと思ひまして、お願いします。

【秋庭高齢介護課主幹】 家族介護教室で1回エンディングノートの書き方などをやったときには、16人で、結構、通常よりもお集まりがよかった状況でした。この実績だと、それプラス、認知症のサポーターステップアップ講座といいまして、その講座の人数も含めた人数でして、ステップアップ講座というのが、認知症サポーター養成講座で初期

の研修を受けて、そのステップアップの講座なので、その辺が、受けられるときと受けられないときという時期とかにもよってあるので、その辺の差が出てしまったとは、そういうことが原因だったとは、うちのほうでは思っているのですが。

【大森委員】 分かりやすい御回答、ありがとうございました。

【黄木会長】 よろしいですか。

【大森委員】 ありがとうございます。

【黄木会長】 ほか、基本目標Ⅲ、ないしⅠ、Ⅱももし漏らした部分がありましたら。では、続いて、Ⅳのほうにも行かせていただいて、ここでも、また今までのⅠからⅢで気がついた部分がありましたら、お出しただければと思います。それでは、基本目標Ⅳ、18ページから20ページ、事業番号で申し上げますと、34番から39番の評価内容の確認に入ります。何か御質問、御意見等ある方、御発言のほうお願いいたします。いかがでしょうか。では、私のほうから意見と質問、1つずつよろしいですか。まず、19ページの事業番号37番になります。

こちら、意見ですので、特には回答のほうはいいです、こちらも先ほどありましたとおり、公民館の講座ですかね。そちらが目標値4回という講座回数に対して、3年度は5回だったところから、4、5、6と大幅というか、大幅を超えるというか、20倍近い回もありますけど、非常に昨今、家庭教育という地域教育は、地域がなかなかつながりが少なくなってきたという中で、家庭教育への支援というのはすごく大事になっていると思いますけど、これだけ多く講座をやられているというのは、今、本当に少子化対策ということで、いろんなことを国レベルでも言われていますけれど、非常に充実した内容なのかなというふうに捉えています。本当にすばらしいなと思っております。

もう一点は、質問になります。20ページになります。

事業番号の38番になりますが、こちら、3年度の目標に対しての実績、これはコロナの影響なのかなと思いますが、その後、4、5、6と実績が徐々に上がっているのかなと。また、現状と課題というところも拝見しても、男女比も3対5ということで、女性のほうへの理解というところも、非常に比率としても上がっているのかなと思っています。

こちら辺、順調に人数が増加しているというところの捉えというのが、もし把握していたらお教えいただきたいと思いますが、学校教育課、お願いします。

【明珍学校教育課指導主事】 それでは、今の御質問に対してですけど、教員の研修の制度が変わりまして、教員が、今までは正直、研修を受けなければいけないというところで受けていたところが、これから、教員が自主的に研修を受けていく、自己研さんのために受けていくというふうに変わっていきましましたので、教育委員会が主催した研修に関しては、今年度、この夏に行われる研修もかなり多くの先生方が教員研修会のほうに出席しておりますので、やはり先生たちがこれから学びた

い、もっとこれから知りたいという研修を設計していくのが必要かなと思います。

昨年度に関しましては、性的マイノリティーに関して、実際に当事者の方に来ていただいて、実際、その方が学校生活の中で困っていたこととか、どうすればいいかということ先生方と一緒に考える、先生方も一緒に主体的に参加できるような研修になっていたのも、今後も研修の仕方、行い方については考えていくことで、次年度に向けて、今年度から、もう少し実績の数を上げていけるような研修会にしていきたいなと思っております。以上でございます。

【黄木会長】 詳しい内容、お教えいただいてありがとうございます。自主的に研修を行う制度が変更になったというところで、本来、必ず指定された研修で出てくる、出ていくという今までの部分から、自主的というような言葉で言うと、本当に聞こえのいいところですけど、かえって判断を自分に委ねられるので、教員の研修意欲が本当にあるのかどうかということが試されるのかなと。法令上は、教員は研修に努めなければいけないということはあるんですけど、そういった部分では、町内の先生方は本当にいい形で、自主的に、逆に増えているというすばらしいところなのかなというふうに、今、聞いていて思いました。ありがとうございます。

ほか、基本目標Ⅳ、あと、今までのⅠ、Ⅱ、Ⅲの基本目標の部分についても、漏らした部分がありましたら、いかがですか。

橋本委員、よろしくお願いします。

【橋本（拓）委員】 Ⅳなんですけど、事業番号の39番の中学生人権作文コンテストの実施のところで、多分中学生が出す作文だと思いますが、このテーマというのは、分かる範囲で構わないので、どんなテーマですか。人権作文って、人権って幅が広いと思うので、今おっしゃっていた性的マイノリティーも1つだし、ほかの人権もたくさんあると思いますが、どんな内容を中学生が書いているか、もし分かれば知りたいです。

【黄木会長】 では、町民窓口課から。

【事務局】 中学生人権作文のテーマですが、いじめや差別、あと、先ほどの性的マイノリティーや、福祉に関すること人権のテーマとして書いていただいております。それは、中学生が個人で選んで書いております。以上です。

【黄木会長】 ありがとうございます。

かなり年度によって増減が違ってくるので、書きやすいテーマとか、学年によっても違ってくるのかもしれませんが、橋本委員、いかがでしょうか。

【橋本（拓）委員】 いや、多分、自分が書かせているときに、やっぱり自分事になるテーマだと書きやすいので、意見ばくになってしましますが、このテーマを幅広く出していただけると子供たちは書きやすいの

かなと。これだったら書けるかなと自分の身近なもので多分探すと思うので、上がったたり下がったりしていたので、逆にどういうテーマだったのかなというのを気になったので聞きました。

以上です。

【黄木会長】 年度のテーマまでは分からないですかね、今は。

【事務局】 このテーマで書いてくださいというのではなくて、もう自主的に。

【橋本（拓）委員】 幅広いですよね。

【事務局】 中学生が自主的に書いていただいているものになっております。

【黄木会長】 なるほど。

【橋本（拓）委員】 その当時の、対象になっている学年の多分、先生の考え方にもよると思うので。

【黄木会長】 これ自体は、県とかのレベルのコンテストでしたっけ。

【事務局】 そうです。法務省が主催しておりまして、優秀な作文は県大会、それから全国大会に行って表彰を受けたりしております。

【橋本（拓）委員】 ありがとうございます。

【黄木会長】 ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。吉野委員、お願いします。

【吉野委員】 すみません、1点。事業番号30番の第5次プランの評価の理由のところの一番最後のところも、令和4年度以降は目標値を達成できたというふうに書かれているのですが、この実績からすると、達成はしていないのですが、これって介護教室と認知症の分を分けての考え方なのか。

【秋庭高齢介護課主幹】 すみません、達成できたとコメントしてしまいました。全体的には達成していません。

【吉野委員】 達成していないけど。

【秋庭高齢介護課主幹】 はい。そこの部分、分けたあれだと達成しているみたいなコメントをしてしまいました。すみません。

【吉野委員】 ということは、家族介護教室のほうの参加者が少なかったということ。

【秋庭高齢介護課主幹】 はい。

【吉野委員】 達成していなくて、認知症のほうは、自分たちが予定していた人たちは来ていたというくらいの、そういうのですね。

【秋庭高齢介護課主幹】 はい。

【黄木会長】 少し分かりづらいです。

【吉野委員】 分かりづらいですね、これ、比べて見ていると。

【黄木会長】 基準がそれぞれ分かりづらい。

【吉野委員】 こっちが幾つとか分かれて基準があってみたいなのがあれば、分かるかもしれないけど。

【秋庭高齢介護課主幹】 すみません。

【吉野委員】 これだと少し分かりにくいかもしれない。

【黄木会長】 そうですね、おっしゃるとおりですね。ちょっと誤解を招くというか、説明が必要かもしれないですね。

ほか、いかがでしょうか。今、前に戻った部分もありましたけれども。大森委員、お願いします。

【大森委員】 では、いいですか。これも資料2が終わりだと思うので、その資料2のまとめのところになってしまうかもしれませんが、前回もそういうようなお話をしているのですが、前回というか前年度のときにお話ししているものは、今回の議題とそれているものは結構割愛させていただくのですが、この中で、やはり男女平等って、権利の主張のところって結構あるかと思いますが、今、何々ハラとかそういうものって結構たくさんありますが、今、多様な価値観がある時代の中で、この辺ってすごく難しくなると思うのです。権利とかを主張する前に、義務とか責任とか思いやりがあるということも、こういう講座をやるときに教えていっていただきたいなと思うのです。

一番分かりやすいのだと、今、例えばの例です。11ページにあります育休の話、これ、育児休暇っていい働きかけだと思うのですが、育児休暇を例えば取ろうとしても、そのときに、周りの仕事仲間の方々、そういう方にも責任感とか思いやりを持って接するというのは大事なことだと思うのです。もう育児休暇だから休むよ、と休んでしまう方とかもいると思うのですが、そういうところも教育していくというか、休んでしまうけど大丈夫とか、コミュニケーションの一環になると思うのですが、そういうのってお互いさまだから大事だよねということも教えてほしいなということ、何か今、講座とか、教室とかいろいろやっていく中で、こういうことってすごく大事ななと思いました。ですので、よろしくお願いします。

それと、もう一方、公民館の方々、公民館館長をはじめ、公民館の方々はずいぶん頑張って、事業数もかなり増えているというところはすごく思います。本当に頑張っていただいて、感謝しているのですが、その中で、もっと公民館を平日の空いているときに、もっと町民の方々の、各地域、北部と南部があるので、そのところでもっと活性化するようにしていただけると、公民館を拠点として地域の方々が情報交換したりとか、コミュニティーができるような、もっとハードルの低いようなそういう何か公民館づくりを何年か、すぐにはできないと思うんですけども、行く行くそういう形でやっていただけたらうれしいなと思いました。すみません、以上です。あくまでも意見です。

【黄木会長】 よろしいですか、もし今の意見に何かあれば、あれですけど。岡野課長、お願いします。

【岡野生涯学習課長】 それぞれ南部、北部公民館ともサークル活動というのがございまして、地域の方々が集っているいろんな活動をしていたりするのですが、やはりそれもサークル活動に関しては少し伸びが、今、停滞しておりますので、そういったところを活発にしていって、地域の方々がもっと活用できるようにしていけたらというふうには考えておりますので、そこに働きかけをしていきたいと思います。

【大森委員】 ありがとうございます。

【黄木会長】 ありがとうございます。  
ほか、よろしいでしょうか。

それでは、基本目標のⅠからⅣの質疑については、この辺で閉じたいと思います。ただいま御確認いただいた内容を踏まえまして、委員の皆様には別紙に、今日お配りされていた意見記入用紙に御記入をいただくことになるようです。この用紙の記入、提出について、事務局から説明のほうお願いできますでしょうか。

【事務局】 委員の皆様、様々な御意見をありがとうございました。

個別記入用紙が基本目標ごとになっておりますので、それぞれに御意見等を記入していただきまして、8月27日水曜日までに事務局へ御提出をお願いいたします。提出方法は、最後に添付させていただきましたように、ファクス、メール、郵送、直接のいずれの方法でも大丈夫です。また、様式の電子データが必要な場合は、後日、こちらのほうからお送りいたしますので、お申し出いただくと幸いです。

事業実績の評価をまとめ、公表を行いたいと思いますので、お忙しいところ申し訳ございませんが、よろしくをお願いいたします。以上です。

【黄木会長】 本日、配られましたクリップ留めの3枚目以降に資料のほうありますので、今、そちらの3枚目のほう、提出についてというところで記載もありますので、そのとおりやっていただければなと思いますので、よろしいでしょうか。

では、期日までに御提出のほうよろしくをお願いいたします。

それでは、続きまして、議題の（２）番「第６次さむかわ男女共同参画プラン」令和７年度事業計画についてに移ります。

まず、事務局から説明のほうをお願いいたします。

【事務局】 それでは、資料３を御覧ください。各事業の担当課から提出されました令和７年度の実業計画をまとめたものでございます。

基本目標Ⅰ、あらゆる分野での女性の活躍推進は事業番号１から９、基本目標Ⅱの人権の尊重とあらゆる暴力の根絶は事業番号１０から１６、基本目標Ⅲ、（ワーク・ライフ・バランス）推進のための取組は事業番号１７から３２、基本目標Ⅳ、ジェンダー平等の意識啓発の推進は事業番号３３から３６、基本目標Ⅴ、安心して暮らせる社会の実現は事業番号３７から４３となります。それでは、少し時間が限られてきましたので、１つだけ説明させていただきます。

事業番号５と６、女性の活躍のための講座の開催を御覧ください。

こちらの事業内容は、女性の活躍促進のための講座を開催しまして、女性のリーダー育成や住民活動への参画を促進いたします。今年度も引き続き、かながわ男女共同参画センター様と男女共同参画市町村連携事業を行う意向がでございます。具体案はまだですが、開催時期は１月頃を予定しております。今年度同様、ユーチューブ配信を検討しております。以上でございます。

【黄木会長】 時間の関係で説明が十分行えないですが、事前に配付してありますので、お目通しいただいているかなと思いますが、それでは、今説明が終わりましたので、御意見、また御質問等でございますでしょうか。いかがでしょうか。

ちなみに、これ、指標自体がもうプランとして確定しているのですよ、目標値がね。もし、するとしたら、指標の質問という形になりますね。では、今さらに本当に恐縮ですが、７点ほど指標の数値のほうで疑問、今さらですが、なぜそういうふうにしたのかという質問をさせていただきたいと思うのですが、４の事業名のところに番号が振ってあるので、事業番号のほうで見ていきたいと思いますが、あと右上に、事業ナンバーというふうにあるので、そこに関わってくると思います。

まず、事業番号の５番ですが、女性の活躍のための講座の開催ということで、過去の実績に基づいて、この目標数値を掲げてくださったと思いますが、現状値、５年度現状値として、設定を当時したかと思いますが、過去の実績に基づいて算出という中で、ここら辺、過去の実績も同じ参加人数１００という中で、そこを大幅に上回るようなところだったんですけど、特にこの２２３は多かったのですが、あえて１００にしたところの経緯、もし理由をお教えいただければありがたいのですが。

【事務局】 では、ナンバー５の女性の活躍のための講座の開催の目標数値ですが、令和７年度以降を１００とした理由といたしましては、令和５年度までは、県との共催と、あと藤沢市と茅ヶ崎市の２市１町合同で年２回の講座を開催していたところなんです、令和６年度からは、２市１町の事業を講座開催から、ジェンダー平等リーフレットの作



成に変更したために、講座の開催が県との共催のみになったことから、目標数値を100といたしました。以上です。

【黄木会長】 他市さんの部分がなくなったというところですね。ありがとうございます。

続いて、2点目が事業番号11番になります。

こちら町民窓口課ですが、5年度の実績12というところから、その実績に対して大幅に目標値が低いので、こちら辺は、あえて引き続き2にしたという部分もあるのかもしれませんが、こちら辺のかなり実績も上げていって2にしたというところはどんな点だったのかなと。お願いします。

【事務局】 県の女性相談支援員との連携の目標数値ですが、女性相談支援員とも相談いたしまして、5年度の実績は電話による情報交換を数に入れていたんですけれども、7年度からは対面による、より詳しく情報交換できる対面の数にしましょうということで、年2回ということにさせていただきました。以上です。

【黄木会長】 電話も含めていたものから対面に限るというような形で、以前は12だったところを2にしたということですね。ありがとうございます。

それと、あと事業ナンバー15番になります。こちらは健康運動ボランティア地域活動実施回数で、5年度の実績が51になっていますけれど、前の第5次のプランでは、先ほど見てきましたけど、ここでは目標値が45だったのかな。45から実績も上がっていたけれど、上がっていない、到達しないときもあったかもしれませんが、目標値自体が今回後退するような形になりましたけれど、こちら辺の経緯、もし御存じであつたらお伺いしたいのですが。一島課長。

【一島健康づくり課長】 健康づくりの体操の日というものと、あとは地域からの依頼があつて出向くものというふうなものの合算で目標値は示してはおります。健康づくり体操の日は、運動ボランティアさんという方々が主体で地域の健康づくりを引っ張ってくださっているのですが、そこは、ある程度回数は変わらなく、もう定例化しているので、そこは、皆さん、もう双方で楽しくやっておると。地域のほうについては、運動ボランティアさんのキャパですとか依頼の数によってということで、年間の回数という意味ではちょっと差異が出やすいところなんです。そうすると、合算に少し差異が出る中で、スモールステップにはなるのかなと思いつつも、まずは必達目標というふうなことで、この40回というふうなことで収めさせていただいたということなので、何か縮んだというよりは、必達はとにかくここでというふうにつえながら進めていきたいと考えています。以上です。

【黄木会長】 ありがとうございます。既にプランとして決まっているかとは思いますが、ここで変更というのを特に求めるところではないとは思いますが、経緯を改めてというところでお伺いしました。

続いて、すみません、多々になってしまって恐縮ですが、事業番号18番になります。

労働相談に関する情報提供ということで、以前も目標数値は3回であったのですが、先ほどの基本目標の資料の2番、確認の中で、毎年5回以上は必ず必達されて、結構定例的だったのかなとは思っているのですが、そこがあえて、でも3のままというところまでとどめたのは。現状がずっと6回だったり、5回だったり、5回だったり、5回だったということ、ずっとそこまでのレベルまで引き上がっているけど、あえて目標は3のままというところは、その経緯をお話しいただけたらありがたいのですが、産業振興課、原課長。

【原産業振興課長】      こちらについてですが、こちらはどうしても国や県からの情報提供を基に産業振興課が周知しているという部分もございまして、どうしても受け身的なところがございまして、3という数値にさせていただいております。以上です。

【黄木会長】      少し不透明なところもあるという、自分のコントロールが微妙なところですかね。ありがとうございます。

続いて、事業番号28番になります。

こちらは母子訪問指導事業ということで、以前より行っていますけれど、本当に第5次のプランの中でも、目標をかなり順調に超えていらっしゃると思いましたけれど、この辺の目標を、1,100は必ず超えていたのかなと思いますけれど、あえて1,000のままにしたというところは、そこら辺の経緯、もし御存じでしたらお願いしたいのですが。野呂課長。

【野呂子育て支援課長】      特に出生数の減少が著しいです、本当に。令和6年度は300を割っていますね。本当に10年前と違って100ぐらい落ちてきているところがあるので、全体のお子さんの数が減っているところで、やはり見込みとしては、数を伸ばせないという判断をさせていただきました。

【黄木会長】      ありがとうございます。出生数の関係ということで。

【野呂子育て支援課長】      はい。

【黄木会長】      ありがとうございます。

それと、続きまして、29番になります。

事業番号29、介護教室の開催で、こちらが以前、5年度の実績も121人ですけれど、以前の目標を105というような形で目標値を立てていたのですが、ただ、40ということで目標値がぐんと今回、前回よりも第5次のプランよりも半分以下になっていますけれど、こちら辺は、何か御存じだったら、お願いします。

【事務局】      先ほどから会長や委員の皆様からいろいろ指標の関係で御質問いただいていたかと思うのですが、やはり主管課としても指標の見方、取り方がちょっとおかしいのではといういろいろありまして、施策の基本的方向や事業内容から見直しさせていただいて、7年度の事

業計画としては、家族介護教室の事業で、指標で計画していきたいなと思って、この数字に、共通の定員人数に設定させていただいております。認知症サポーター養成講座は引き続きもちろんやっていきますので、今回の指標としては、家族介護教室だけでいかせていただければなと思って、計画を立てました。以上です。

【黄木会長】 絞ったところですね。ありがとうございます。  
私のほうは大丈夫です。ほか、いかがでしょうか。石井委員、お願いします。

【石井委員】 事業ナンバー５の先ほどのありました女性の活躍のための講座の開催なのですが、こちら、当センターとの共催ということでありありがとうございます。

項目６番のところで、令和７年度事業予定で５０人程度と、あと目標数値のほうは１００でされているのですが、この差はどういった形なのかなと思ひまして。

【事務局】 こちら、５０人程度というのは、対面で開催した場合の数になります。１００としたのは、すみません、ユーチューブでの、今までコロナ禍でずっと１００人超えていたので、１００としました。

【石井委員】 今年度はユーチューブを予定されていますか。

【事務局】 検討中です、どちらにしようか。

【石井委員】 今はまだ検討されて……、ありがとうございました。

【黄木会長】 よろしいですかね、石井委員。ほかはいかがでしょう、よろしいでしょうか。

それでは、質疑については、この辺で閉じたいと思います。

議題（２）「第６次さむかわ男女共同参画プラン」令和７年度事業計画について終了いたします。引き続き、議題の（３）その他に移ってまいります。委員の皆様から何かございますでしょうか。

では、大森委員から。

【大森委員】 今日はお疲れさまでした。

今日は初回ということで、なかなか熟議というか意見交換というところまでは行かなかったと思うのですが、今日発言されていない委員さんもいらっしゃるの、せっきくの機会なので、何かあれば、お話し聞かせていただけるとうれしいなというのは思ひまして。

【黄木会長】 感想でも。

【大森委員】 なければならないでもいいですが。

【黄木会長】 では、永田委員から。

【永田委員】 私、先ほど冒頭でファミリーサポートセンターの永田というふうに申し上げたのですが、本日すみません、よく考えたらもともとは青い鳥の者として、社会福祉法人青い鳥に一応勤務しております、その青い鳥からファミリーサポートセンターのアドバイザーとして、勤務はそちらでしております。すみません、そこだけ、社会福祉法人のほうに一応籍は置いてありますので、そこだけ間違った説明になってしまったので。

こういった会議に初めて出させていただいて、いろんな事業があつて、本当にお役所の方々もいろんなことを進めていただいてありがたいなというふうに、また感謝の気持ちを持ちました。以上です。

【黄木会長】 皆さん、いろんな役職、私も幾つばかりか持っていて、今日はこの後、午後も違うまた役職で出張へ行くのですが、夏休みに入った途端にもう毎日のように午前、午後、違う役職でどんどん出張をしています、本当に皆さん、お疲れさまです。では、小林委員。

【小林委員】 本日はありがとうございます。

お話を聞いていて、本当に役場の方々、いろんな活動されているのだなというのがこの書面を見てもすごく感じることができました。保育園としましても、保育園で遊ぼうとかそういう活動はしていますけれども、やはりこういう書面を見ると、まだまだ足りないのかなという少し反省点も含め、もっと多くの活動を地域に対して呼びかけが必要だなというのをすごく感じました。

あと副会長が先ほどおっしゃられたように権利を当たり前と思わない。そこってやっぱりすごく大事だなと思って、保育園でも、男性はうちはいないのですが、産休に入ったり、育休に入ったり、その代わりに他の職員がそこを補う、なかなか代替りの職員も今全然見つからなくて、そういうお互いさまですけど、やはり思いやりという、その根底にある気持ちの問題ってすごく大事だなというのはすごく共感できました。今日は本当にありがとうございます。

【黄木会長】 ありがとうございます。

保育園もなかなか、昨今の人材不足というところの、役場も、また学校も保育園も皆さん同じ状況で、いろいろそういった環境整備をまた、市町村レベルというよりも、国レベルの話だと思うのですが、そういったどういうふうにしていこうかという、今、過渡期なのかなというふうに思っておりますけれど。

【大森委員】 よろしいですか、せっかく来ていただいているので、せっくなので、こういう偉い方々もいらっしゃるので、何か情報交換したりとか、ある意味、何か産業振興課さんとか融合しながら、子供たちのこういうイベントに参加できるような新しい何かそういうものが生まれるとすごくいいですね。そうすると、ここに出席している意味もうんと出てくると思いますし、僕の一意見です。

【黄木会長】 今日では議題としては、前年度の部分と今年度の事業計画というところなので、また今後、議題等もあると思いますし、そこでまたいろいろ交流できたらいいのかなと思っております。

私も職場で、先日も話しましたが、大森委員と小林委員もおっしゃいましたけど、おかげさまとお互いさま、お互いさまも大事ですが、おかげさまも大事にしてという、この2つの気持ちですね、大事にしながら、バランスを保ちながらやっぱり組織というものは維持していく、運営していかなくちゃいけないのかなと、それは一人一人がやはりそういう意識を持っていないと、なかなか残った者が厳しくなってしまうたり、本当にお子さんやら保護者やらに御迷惑かけるわけにはいけないので、そういった部分、本当にあると思います。ありがとうございました。

ほか、よろしいでしょうかね、委員さんから。

では、事務局からは、何かその他ありますでしょうか。

【事務局】 皆様、御審議ありがとうございました。

次回の会議の開催時期につきましては、10月頃を予定しております。

次回の会議では、委員の皆様から御提出いただきます御意見を事務局で取りまとめまして、御審議いただく予定でございます。また、本日机上配付いたしました第2回会議日程アンケートの御提出も併せてお願いいたします。第3回会議につきましては、2月から3月頃を予定しております。推進協議会につきましては、今年度7月、10月、2月の年3回を予定しております。また、現在、こちらの協議会の公募委員を募集しております。ごめんなさい、実はこれ、今日が締切りなので、今日応募がない場合、また次回募集いたしますので、もし御紹介いただける方がいらっしゃいましたら、事務局まで御連絡いただきますようお願いいたします。事務局からは以上です。

【黄木会長】 それでは、今御説明もありましたけれど、アンケート、これは8月20日まで、それとその前に説明した個別記入用紙、8月27日で1週間、この2つお忘れないようによろしくお願いします。

それでは、これで本日の日程終了といたします。

進行を事務局にお返しいたします。

【事務局】 黄木会長、議事進行お疲れさまでした。

委員の皆様も長時間お疲れさまでした。

本日はお忙しい中、お集まりいただき、貴重な御意見を頂戴し感謝申し上げます。

それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。ありがとうございました。

8 閉会

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さむかわ男女共同参画プラン推進協議会委員名簿</li> <li>○さむかわ男女共同参画プラン推進協議会設置要綱</li> <li>○資料1 第5次さむかわ男女共同参画プラン事業実施状況の概要 (令和6年度実績)</li> <li>○資料2 第5次さむかわ男女共同参画プラン令和6年度事業実績 報告</li> <li>○資料3 第6次さむかわ男女共同参画プラン令和7年度事業計画</li> </ul>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大森委員                      ・石井委員</li> </ul> <p style="text-align: right;">(令和7年9月19日確定)</p>